

報道関係者各位

2018年10月9日

「ライトダウンキャンペーン2018」の節電相当量から算出 スギ488本分の寄付金を岩手県住田町に贈呈

大東建託グループ(本社:東京都港区)は、9月27日(木)、当社グループが実施した「ライトダウンキャンペーン2018」の取り組み結果として算出された、スギ488本分の植林・管理費用※1 合計860,698円を、岩手県住田町に寄付金として贈呈しました。

本キャンペーンは、環境省の「ライトダウンキャンペーン」に賛同し、当社グループが2014年より実施しているもので、今年で5回目となります。今年、6月21日(木)(夏至の日)7月6日(金)の両日※2 20時から22時までの2時間、全国1,195カ所の当社グループ施設で一斉消灯を行い、11,859kwhを節電することができました。これをスギが吸収する二酸化炭素吸収量に換算すると、その量はスギ488本分に相当します。

当社ではこの結果を受け、488本分のスギの植林・管理費用である合計860,698円を寄付金として贈呈しました。

※1 長期にわたる下刈りや間伐等、環境整備・保全のための費用。

※2 7月7日(クールアース・デー)が土曜日のため、当グループでは7月6日(金)に実施。



■住田町にて寄付金の贈呈式を実施

スギ488本分の植林・管理費用、合計860,698円を岩手県住田町に寄付するに当たり、贈呈式を実施しました。式では、大東建託 執行役員設計統括部長 舘正文より、住田町長 神田謙一氏に寄付金を贈呈しました。さらに、スギの苗木が植えられる山林の一角には、植林を記念した「住田町・大東建託 協働の森」の看板が設置されました。



住田町での贈呈式の様子



「住田町・大東建託 協働の森」の看板を設置

今後も当社グループは、森林を整備し育てるための支援活動に継続して取り組み、自然と調和を重視した良好な住環境を提供していきます。

<本件に関するお問い合わせ>

大東建託株式会社 広報部 広報CSR課 TEL:03-6718-9174